

おおみや

発行…埼玉県社会保険労務士会 大宮支部 広報部 発行日…平成25年1月1日
ホームページアドレス <http://www.sr-omiya.net>

新年のご挨拶



支部長
大久保 悟

新年あけましておめでとうござい
ます。

会員の皆様ご家族様には、健やかに
新しい年をお迎えのこととお慶び申し
上げます。旧年中は、会員各位のご支
援ご協力のもと当初のとおり事業計画
を遂行させて頂いておりますことに理
事各位を代表して衷心より御礼を申し
上げます。

さて、今日の私ども土業を取り巻く
経済環境は、未だに続く不況の影響を
受け会員各位それぞれに懸命な努力を
されておられることと推察致します。
片や一方では、私どもの関与先であ
る中小零細事業家は、“社会保障と税の
一体改革”に向け更なる経営コストの
削減を強いられることが予想されてい
ます。

現況下では結果として、明らかに経
済的理由から弁護士、社労士、税理士
等の各種専門家に必要な相談までも手
控えしなければならぬ状況になって
来つつあると聞いています。具体的
には、昨年7月以降建設業及び運送業関
連団体の協会からの加入者宛て文書に
よれば近い将来「法人として社会保険
の加入が確認できなければ、建設業許
可の新規申請又は更新の手続きは、原
則として受付しない」、或いは「貨物運
送事業の許可申請にあつても同様な取

り扱い」とされたり、各業界の元請で
は、社会保険の加入が確認できなければ
業務編成から止む無く外すことにな
る等の指示も出ています。

行政サイドはどうでしょうか。より
広域に信義則に従った適正公平を求め、
労働条件審査導入の取り組みや中小企
業庁がランダムに親事業者との取引に
関する調査（下請代金法：下請取引の
公正を図って、下請事業者の利益を保
護しようとする）を始めています。

上記から色々な現象が伺え、時流の
方向性は「共生・公開・創造」である
と位置づけして、「原理原則」・本来あ
るべき姿、一個の人間として正しいこ
と正しいままに貫くことに従った物事
の考え方・生き方が益々大切であるこ
とが分かります。このことは、別名“正
しい人間観を認めること”から始めな
ければなりません。なぜなら、「人間観」
は他を許し、他のために尽くすことが
自己の成長につながるからです。正に
土業の理念は、そこにこそあるのです。

社会保険労務士法第1条の2（社会
保険労務士の職責）には、社会保険労
務士は①常に品位を保持し（職務の内
外を問わず、社会の期待と信頼に相応
しい優れた身の処し方をする）②業務
に関する法令及び実務に精通して（業
務につき理論的知識に基づいた高度の
教育と訓練による技術を習得し）③公
正な立場で（公共の利益を保護するた
め、常に公正な立場を保持し、労使の
信頼関係を得る）④誠実にその業務を
行わなければならない（周到な専門家
を標準とした高度な注意義務を以て）
と規定されているのをカッコ書きのよ

うに解説することができます。

時代の要請は、個人情報保護法、公
益通報者保護法に始まり、最近では労
働契約法、高齢者雇用安定法など大
きな改正が続いており、企業組織運営
の中で早々に対応を求められる問題が
出ています。

業務が煩雑化する中とは言え、私ど
もは上記を再確認しなければなりません。

私は、新年度に向けて“価値の創造”を
ご提案させて頂きます。

具体的には、関与先の経営労務監査
制度を確立し、その手法を標準化する
ことで定期的或いは臨時的に全面監査
を実施することによってのみしか社労
士本来の業務と職責は果たしえないと
考えるからです。

経営環境の不振によって、社内に渦
巻く不安や不信又は個別労使紛争が増
加する今日、経営労務監査体制を確立
し社労士が労務管理の専門家として職
責を果たすことで関与先企業に良質の
労働慣行を樹立し、法律的な防禦体制
を構築し、更には労使関係の無駄な紛
争の発生を抑え関与先企業の経営の発
展と成長に寄与することができると確
信を致しております。

結びに当たり、理事各位全員が一丸
となつて今年も支部運営に邁進して参
りますので、会員の皆様に於かれまし
ては、引き続き力強いご支援ご協力を
賜りますようお願い申し上げます。

特別研修会を終えて

事業部長 荒 祐子

今年度の公開の研修会を開催するにあたり、全国社会保険労務士会連合会の大槻哲也最高顧問にお願いすることに決めました。前年、縁あって東京で、「社労士が関わる団体交渉の実務―自信を持って団体交渉に臨むには―」という大槻最高顧問の講演を聞きました。法改正によって、我々社労士が関与できる分野が増えましたが、トラブルになるケースもあるということで、どのように取り組んでいったらいいのかわからないに思っていた私でしたが、講演を聴くことで、やれるんだ、やっていいんだ、という自信が湧いてきたのが強烈な印象でした。そこで、大宮支部の皆様をはじめ、せっかくの機会なので他支部の皆様にも、同じように自信をもってもらえる機会になれば、と思ったことが第1番の理由です。

皆様のご協力により、和気藹々とした研修会と懇親会となりましたことを、心よりお礼申し上げます。そして、今回担当として3月から9月まで準備しましたが、その中で私が学んだことを皆様にもお伝えしたいと思います。

社労士なら誰もが憧れる、大槻最高顧問の成功の秘訣は・・・

その1 迅速に対応していただけるこ

と

仲介をお願いした東京会の岩城先生も、次の日には大槻最高顧問に話しを通してくださり、その日のうちに大槻最高顧問から、私の携帯電話に連絡がありました。その後、大槻最高顧問の事務所の担当の先生とメールで連絡を取りあいましたが、その対応もとにかく迅速で丁寧で恐縮しました。大槻事務所では、顧問先からの問い合わせにも、待たせないシステムを採用しているとのこと、私が「いつも電話に出ない」と苦情を受けている、と話すと、信頼できる仲間を作って協力しあえば同じようにできるよ、とアドバイスしてくださいました。



その2 気さくなお人柄

いつもやさしい笑顔で接してください、同業者の知り合いという感じで対してくださいました。私としては、大変恐縮しましたが、とても誇らしく嬉しいことでした。

大久保支部長と大槻最高顧問にご挨拶に伺った際も、2時間にわたりお話をしてくださいました。その中で、大槻最高顧問のところには、様々な人から様々な話が集まるんだろうな、とい

うことは推測できましたが、そのひとつひとつに真摯に対応されていることに感嘆しました。社労士であれば、大槻最高顧問の仲間の一人なのでしょう。

その3 「Love」 社労士!

大槻最高顧問は、社労士に誇りを持つていらつしやるとともに、社労士の可能性についても敏感に目を光らせていらつしやるようです。大槻事務所の最高顧問室には「人・役・喜・報」の色紙が飾ってありました。人の役にたつて喜ばれて報酬を受ける。我々も、最終的にどうやって商売に結び付けるか、に敏感になることが必要だと思いました。

―他にもまだまだありますが、紙面の都合上、またの機会にお話したいと思います。―

懇親会を終えて、大槻最高顧問を埼京線のホームまでお見送りしました。最後にいただいた一言は、「開業してそんなになるのに、まだそんな感じなの? あなたも、もっと(最低限商売を)がんばらなきゃ。楽しみにしてるよ。」でした。(反省)



業務開発グループ研修活動

業務開発部長 大沢 亘

平成24年度から業務開発部の2年目の活動状況の概況を報告させて頂きます。これまでに学んできたこと、また、これから学んでいくことを蓄積し、大宮支部会員のレベルアップにつなげていくことができればと考えております。

2年目に入り、研修した実績を実務に結び付け、自信を持って営業活動を進めていきたいと考えておりますが、現実にはなかなか厳しいものがあります。年金相談一つとってみても、平成25年度4月2日以降60歳を迎える男性から年金は61歳に繰り下がって参ります。厳しい世情を反映し相談者は、本当に真剣です。年金事務所には今年大宮支部の年金グループが推薦する新人を3名送り込んでおりますが、当然相談者の要望もレベルの高い内容を求められています。

一般の社労士業務も、相談者がバイに見合った十分満足して相談できる社労士を求めている姿を実感させられる昨今です。後進の育成と会員の知識・技能の向上に資するために、様々な経験を積んでこられたベテランの実務に精通した先生方からご講義をいただくことを心から願っております。どうか今後とも業務開発部の活動をご理解ご支援いただきます共に、会員の皆さま方のご参加を心よりお待ちしております。

グループ研修報告

日 付	4月7日	4月21日	4月27日	5月19日	6月2日	6月13日	6月16日	6月21日	6月30日	7月14日
講 師	萩原会員	片柳室長	岡安会員	高野会員	渡辺会員	国生会員	高野会員	田邊会員	服部会員	村岡会員
内 容	法定調書 源泉徴収票 の作成	年金wm 研修	年金額改定の 仕組み	窓口相談事例 と今後の研修	私の開業日誌	障害年金	労働条件 販促ツール 及び受注活動	労働条件審査 マニュアル 実践について	育児介護休業の 企業の指導の ポイント	先輩から学ぶ 業務事例等
場 所	支 部	支 部	支 部	支 部	支 部	支 部	支 部	支 部	支 部	支 部
出席者	10	26	13	21	19	22	21	21	15	18

日 付	7月21日	8月11日	8月18日	9月15日(午前)	9月15日(午後)	9月22日	10月20日	11月3日	12月9日
講 師	各分担者	大野会員	各分担者	各分担者	野寺教授	片柳室長	各分担者	各分担者	各分担者
内 容	労働条件審査 審査チェック 項目の研修	労働条件審査 における 安全衛生法	労働条件審査 審査チェック 項目の研修 2回目	労働条件審査 審査チェック 項目の研修 3回目	有機溶剤石綿 に関する規制	障害年金研修	労働条件審査 審査チェック 項目の研修 4回目	労働条件審査 審査チェック 項目の研修 5回目	労働条件審査 審査チェック 項目の研修 6回目
場 所	支 部	支 部	支 部	支 部	支 部	支 部	支 部	支 部	支 部
出席者	23	17	20	23	17	15	23	21	16

今後の予定

日 付	25年1月12日	25年1月19日	25年2月9日	25年2月16日	25年3月9日	25年3月16日
講 師						
内 容	年金研修	労働条件審査 審査チェック 項目の研修 7回目	年金 繰上げ繰下げ	労働条件審査 審査チェック 項目の研修 8回目	総合年金通算 基金について	労働条件審査 審査チェック 項目の研修 9回目
場 所	支 部	支 部	支 部	支 部	支 部	支 部



明治大学大学院 経営学研究科に在学して

山口 恵美子

私は現在、明治大学大学院経営学研究科博士前期課程に在学し、2度目の院生生活を送っています。きっかけは、①全国社会保険労務士会連合会（以下「全社連」）による明治大学大学院経営学研究科推薦制度があったこと、②実務経験だけでなく、理論的な裏づけを得ることで、よりお客様のニーズに応えられると思ったこと等からです。しかし、1年次は、水々金、隔週土曜に御茶ノ水まで通学、特に平日は午後5時前に仕事を切上げ、午後10時半過ぎに帰宅するという日々が続き、子供のお弁当作りで午前5時に起床する私には、大変な1年でした。乗り越えられたのは、同じ境遇にある同期の社労士が、皆、頑張っていたこと、そして、たまに同期と飲みながら研究等について語らう機会があったからです。

2年になり、週に2日、所属する遠藤ゼミ（遠藤教授は熊本会主催「第3回労働問題シンポジウム」で基調講演の講師を務めています。）と「労務監査特論」を受講するために通学し、それ以外は論文執筆に専念すべきという状況です。「労務監査特論」では、『経営労務監査の手法』（全社連付属日本労務

管理研究センター編）の執筆者の一人である愛知東邦大学の田村教授から、全社連の目指す「経営労務監査」がコンプライアンスに留まるものではなく、人材の活用状況等も把握し、社労士が「見える化」した報告書を提供する、即ち、企業が成長するための経営材料の提供することで、企業の成長に寄与していくものであるということ等を学んでいます。

講義の担当教員及び指導教授の承認があれば、他の研究科の講義も受講可能で、私も法学研究科の「労働法特定研究」や「民法（財産法）特定研究」を受講しました。日本をはじめとする労務管理の流れ・法律の知識といった幅広い知識とそこで得た人脈、解決していない問題を見つけその解決方法を理論的に見出すという研究の体験によって、他の社労士との差別化が図れると感じています。興味のある方、是非、今秋の説明会へご参加ください。



「中央区区民まつり」に 参加しました！

渡部 光広

11月10日(土)、11日(日)の両日、さいたま新都心けやき広場において開催された「中央区区民まつり」に、埼玉県社会保険労務士会大宮支部として参加しました。これまでの諸先生方のご尽力により、社会保険労務士の知名度も上がってきているところではありますが、まだまだ、弁護士や税理士といった士業と比べると広く知れ渡っていないのが実情のため、社



労士の広報活動を目的としての参加となりました。具体的活動としては、写真のようにお祭り会場の一角を借用して、一般の方々に向けて無料の労働・年金相談を実施しました。私は11日(日)に参加させていただき、私を含めて6名の先生方による相談会となりました。若手(?)の私は主にチラシとティッシュ配り(いわゆる呼び込みです(笑))に専念しま

したが、ブースに入って相談を受ける機会もいただき、幾つかの年金相談にも従事することができました。日曜日は曇りがちで夕方から小雨となる生憎の天気でしたが、合計で20件の相談をいただきました。相談内容は、年金相談がほとんどを占めました。健康保険や介護保険の相談も寄せられ、前日の土曜日には労働相談にも対応させていただきました。

社労士とは具体的にどんな仕事をしているのか、まだまだ、理解されていないところもありますので、今回のような活動を通じて少しでも社労士の認知度を上げて、当会の発展に寄与できればと思います。最後に簡単に報告させていただきます。

11月10日(土)

相談件数34件(年金・27件、労働・3件、その他・4件)

11月11日(日)

相談件数20件(年金・16件、その他・4件)



支部対抗ソフトボール 大会に参加して

松井 利勝

10月13日(土曜日)、東松山の正代運動広場にて開催されました。北上尾駅前からマイクロバスで移動し、1時間位の所です。近くには、ピオニウオークという最近出来たショッピングセンターが有りました。渋滞も考慮し、早めに出発していたのですが、裏道を通ったおかげもあり、開会式の1時間前に到着出来ました。天候は、秋晴れの言葉がびつたりの晴天です。

厚生委員の方々がグラウンド整備を行っている横で、



我々大宮支部はキャッチボール、守備練習、打撃練習を行いました。その時から、腕や脚の張りを

感じ、試合まで持つかなあ?と日頃の運動不足を痛感。

開会式の前には記念撮影。

なごやかムードが漂っていました。開会式ではトロフィ返還、選手宣誓、ルール説明、体操と進み、少しずつ緊張してきました。

1回戦は、昨年準優勝の所沢支部で

す。じゃんけんで、大宮支部の先行で試合開始。相手方ピッチャーは緩急付けたピッチングで打者を翻弄。しかし、ノーアウト満塁の大チャンス。打順は、守備位置で決めていたので、打順が回ってきました。内野安打で何とか3塁ランナーを返す事が出来、ほっと一安心。その後も追加点が有り、初回は2点。まずまずのスタートでした。1回裏は所沢支部の攻撃です。強打者の連続で、敬遠策を講じるも、3点取られ、あっさり逆転。その後、2回にも1点取られ、2対4。4回に1点追加するも、その裏には9点の猛反撃に遭い、敗退。

昼食を挟んだ午後には、1回戦の敗者対決で、秩父・事務局連合と対決。この試合でも先制し、余裕の試合展開でした。が・・・気が緩んでしまったか、猛反撃に遭い、あっけなく逆転。本気を出した大宮支部は、ピンチヒッターの支部長も登場し、試合終了間際には、何とか同点にこぎつけ、ゲームセット。引き分けではなく、双方勝者ということになりました。

決勝戦は、1回戦で対戦した所沢支部と川越支部の戦いを見学。改めて、強豪に1回戦から当たってしまった不運を痛感。川越支部が健闘するも所沢支部の圧勝で決着。そうすると、大宮支部は大健闘だったのではと皆で納得。最後は表彰式。試合中にファインプレーを連発した原口さん、女性でレギュラー出場した荒さんの2名が個人賞を獲得されました。

最後に・・・学生時代に野球・ソフ

トボールをやっていた方や、現在地域でソフトボールや草野球等をされている方は、是非とも来年の大会に参加して下さい。もちろん、未経験でも日頃の運動不足解消のつもりでの参加もOKです。



大宮支部 ゴルフコンペ報告

10月2日(火)、大宮支部ゴルフコンペが川越グリーンクロスにて開催されました。

当日は天候が心配されましたが、曇り空ながら時折薄日も差し込むコンディションで、まだ夏の名残りが感じられる10月初旬としては、絶好のゴルフ

日和となりました。今回初の参加となる原口先生はじめ総勢11人のプレーヤーが集結し、いつものように和気あいあいとしたコンペとなりました。

優勝は香川先生、準優勝はベストグロスをマークした田口先生でした。

日頃の運動不足解消、他の先生方との交流の場としても良い機会となりましたので、皆さんも一度参加されてはいかがでしょうか？

次回は5月16日を予定しています。腕に覚えのある方もない方も、お待ちしております！



埼玉県社会保険 労務士会支部対抗 ゴルフ大会

田口 修身

今年度は他の厚生事業との兼ね合いもあり例年の11月でなく9月25日に開催されました。当日は、ゴルフ場に向かう途中大雨のところもあり、天候の心配をしていましたが会場である高根カントリーに到着するとほとんど雨も上がっていてゴルフには良い天候になりました。

全支部で102名参加し、わが大宮支部からも10名が参加しました。スコアの良かった人も、少し残念だった人も、皆さんそれぞれ日常の仕事を離れ和気あいあいと一日楽しんできました。

上位4人のグロススコアで競う支部対抗は、1昨年は3位になりましたが昨年は4位に甘んじました。今年は3位以内を目指して皆さんがんばりました。結果は上位4人(石倉87・田口87・鈴木90・平田91)合計スコアが355で何とか団体3位に入りました。1位2位は所沢、川口が341の同スコアで4人の年齢の多い所沢が優勝となりました。我々との差は14です。4人が一つ一つのショットを丁寧に慎重に行い4つ縮めると優勝も見えてきます。来年はもっと頑張つて、優勝目指そうという鈴木正剛ゴルフ部長の言葉が現

実味を帯びてまいりました。また、ダブルペリアで行われた個人戦では石倉さんがグロス87で少しハンディに恵まれ3位に入賞しました。

大宮支部では、春と秋に支部の懇親ゴルフを行っています。そのほかにも弁護士さん・税理士さんと年3回親睦ゴルフを行っています。老いは足からといわれます。元気にいつまでも若さを保つためにもゴルフをお勧めします。ゴルフ同好会では随時メンバーを募っていますのでぜひご参加下さい。



埼玉県支部対抗

ボウリング大会報告

原島 好朗

平成二十四年十二月二日（土）第十三回埼玉会支部対抗ボウリング大会がスポーツ上尾スポーツレーンズに於いて開催されました。

年々参加選手が増え、今回は十二チーム百五十名の選手が会場を埋め尽くしました。熱気にあふれた各レーンからは歓声も聞こえてきます。

個人では、大宮支部の薄井選手が九位と奮闘しましたが、団体戦では惜しくも第七位でした。来年は練習を重ね大宮支部優勝を目指してがんばりましょう。

競技結果

（団体）

優勝	川口支部	1384点
準優勝	浦和市部	1369点
第三位	春日部支部	1333点
第四位	所沢支部	1245点
第五位	川越支部	1214点
第六位	越谷支部	1191点
第七位	大宮支部	1183点
優勝	嶋本哲大選手（浦和支部）	437点

（個人）

準優勝	高橋了選手（春日部支部）	361点
第三位	佐々木隆選手（川口支部）	359点
第九位	薄井信秀選手（大宮支部）	329点



埼玉会ハイキング 碓氷峠にて

埼玉県社会保険労務士会のハイキングが11月18日の日曜日に行われました。大宮支部からは家族も含めて15名の会員の皆さんが参加されました。朝の7時30分に大宮を出発し、途中熊谷で北の地区の会員をピックアップして目的地に向かいました。今年の行先は碓氷峠の「アプトの道」です。

明治時代に日本中に鉄道が建設されました。平坦な地区の少ない日本では建設の難所といわれるところが至る所

にあります。また開通後も急峻な峠を越えるのに大変なところが数多くありました。そんな一つが信越本線の碓氷峠です。近代化を進めてきた明治政府は残念ながら技術は十分に持っていまんでした。この峠を越えるためにドイツから導入した「アプト式」という方式を採用しました。横川から軽井沢まで11キロの距離で600メートルも登らなければいけませんので大変な難所です。線路の間に歯車のような車輪をもう一つ敷き上っていきます。建設されたのは今から100年以上も前の19世紀のはなしです。

新幹線ができるとともに信越本線の横川軽井沢間は廃止になってしまいました。その線路の跡がハイキングコースになっています。我々は途中の美し



い眼鏡橋から横川までの下りをゆつくりと降りてくるハイキングコースを選びました。途中トンネルがいくつもあり天井が煤で黒くなったままのところもありました。紅葉も終わりに差し掛かっていましたがところどころきれいに色づいていてきれいな景色を堪能しました。時々振り返ると結構厳しい登りでここを機関車が登るのは大変だったことが十分にうかがえました。一時間ちよつと歩いた後は、あの釜飯で有名な「おぎのや」でおいしい昼食をいただきました。

そのあととも近くを散策しバスで帰路につきました。時々こんな仕事を忘れてまったりとのんびりするもいいなと感じた一日でした。



新入会員紹介

小松 英夫

さいたま市北区日進町1-168-1
ベルヴィル大宮A-1007

戸口 さやか

エール社労士事務所
上尾市中妻1-15-12
ノガジャパン第2ビル3F

○12月1日

【開業】

臼井 直子
うすい社労士事務所
桶川市上日出谷652-8



行事予定

- 1月15日(火) 埼玉県会新年賀詞交歓会
24日(木) 大宮支部新年賀詞交歓会
2月 4日(月) 大宮支部親睦旅行(東京スカイツリー)
13日(水) 定例会 健康保険給付手続関係研修会
3月13日(水) 定例会 年金グループ会員研修・発表会
4月 平成25年度大宮支部通常総会
6月 6日(木) 埼玉県会通常総会・政治連盟定期大会

大宮支部「らくらく連絡網」 情報提供サービスのお知らせ

現在当支部では、各種連絡通知文(訃報等)、ホームページの更新状況等をあらかじめ登録して頂いたアドレス(携帯OK)に連絡する「らくらく連絡網」を導入しております。希望の方は下記事項を入力して頂き、広報部までお申し込み下さい。

- | | |
|------------|-----------|
| 1 氏名(フリガナ) | 4 登録先アドレス |
| 2 性別 | 5 開業・勤務の別 |
| 3 住所 | |

申込先 広報部

Eメール: info@sr-omiya.net

☆「らくらく連絡網」とは

登録者に無料でメールにて一斉連絡出来るシステム(携帯時のみ迷惑メール着信拒否設定操作必要、メール受信のパケット代負担、広告挿入有)です。

○24年4月1日

【勤務等】

川面 康
上尾市春日1-32-75

○4月2日

【法人の会員】

針谷 裕一
さくら社会保険労務士法人
さいたま市北区本郷町837-901

○6月1日

【開業】

中村 広
中村経営労務コンサルタント事務所
さいたま市北区日進町2-1349-3

寺脇 義明

人事労務相談室寺脇事務所
さいたま市中央区鈴谷2-668-201

○7月1日

【勤務等】

小谷野 貴子
北本市深井8-317

○8月1日

【開業】

長友 秀樹
長友社会保険労務士事務所
さいたま市中央区下落合5-10-5
アステリVIP

【勤務等】

酒井 文雄
上尾市畔吉1414-2

○10月1日

【開業】

新堀 幹人
新堀社会保険労務士事務所
さいたま市中央区上落合2-3-2
Mio新都心621号

○11月1日

【開業】

齊藤 竜造
齊藤竜造社会保険労務士事務所
桶川市下日出谷西2-16-7

【勤務等】

鈴木 孝幸
さいたま市見沼区東大宮6-27-4

同好会紹介

ボウリング同好会

メンタルが重視されるスポーツの一つとも言われていますが、その一方で手軽にできるスポーツでもあります。仲間との親睦を深めていくことと、日頃のストレスを少しでも発散できることを目的にしております。ボウリングの後は、飲コミュニケーション等を行っていく予定です。



ゴルフ同好会

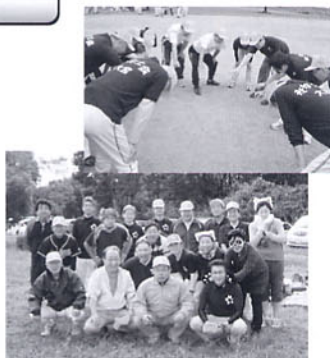
大宮支部ゴルフ同好会は、ゴルフの腕前向上より、仲間との友好が目的です。

御一緒にゴルフで日頃のストレスを発散しましょう。



ソフトボール同好会

楽しく体を動かすことを目的として、年に一度の県会主催の支部対抗ソフトボール大会に参加しております。ソフトボールの経験の有無、性別、酒が飲める飲めない等入会に一切条件はございません。皆様の入会をお待ちしております。



旅行ハイキング倶楽部

本には書いてない、関係役所には聞きにくい、事が聞ける仲間を作りましょう。

今までは東京下町散歩を3回行いました。

他のスポーツ系同好会は県会の支部対抗戦に向けて練習をしていますが、本同好会は参加すればよいのです。お気軽にご参加ください。



新着情報満載

大宮支部HPをご利用下さい。

ホームページ

<http://www.sr-omiya.net>

本30号に関する感想、意見、よかったと思われる記事等を支部宛にメールでお寄せください。次号の参考にいたします。

大宮支部

E-mail: info@sr-omiya.net

編集後記

現体制によるシャローム発行は今回で最後となります。2年間編集に携わってまいりましたが、ご期待に添えるものとなったでしょうか？至らないところも多々あったと思いますが、ご協力していただいた皆さまに、ただただ感謝です。最後に、投稿していただいた方々、写真を提供してくださった方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。「シャロームおみや」がより良いものとなるよう、今後ともよろしくお願い致します。

M・W

ひと言

iPS細胞を開発した山中伸弥京大教授がノーベル賞を受賞したことは近年にない明るいニュースである。早速「山中伸弥先生に、人生とiPS細胞について聞いてみた」(山中伸弥・緑川慎也著、講談社)という本を読んだ。その中で「10回の内1回成功すればいいというくらいに気持ちでチャレンジする」とか「やるかやらないかの選択を迫られたとき、やらなくて後悔するよりやって後悔しよう」ということを言っている。人間万事塞翁が馬の精神に通じるものであろう。また米国のグラッドストーン研究所の所長のロバート・メーリー先生の「VWが大切だ」、すなわち『ビジョン(長期的目標)を持つて一生懸命働く(ワークハード)』という言葉にも感銘を受けている。日本にも「七転び八起き」という諺があるが、『失敗を恐れずに果敢に挑戦していく』ことは、成功の秘訣であらう。

(S・S)